

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社リボン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の特徴	当社は総合福祉サービスを展開しており、利用者様の様々なニーズに応えられる様、事業展開を行っています。当事業所は「ファミリアいしづかの理念」に基づき、馴染みの地域でいつまでも安心・安全に過ごせるように、家族や地域の人々と共に支援できる関係作りを特徴とする事業所です。
事業所名	ファミリアいしづか	管理者	藤井 由紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	人	人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・2カ月に1度の運営推進会議時に事業所自己評価の確認を行う。	・運営推進会議にて事業所自己評価の確認を行っていない。	・計画を立てた。という意味で「はい」にした。 ・外部へわかる為にはどうすれば良いか。	・運営推進会議時に、今回の改善計画を取り組む為の相談をさせて頂き、助言を頂く。
B. 事業所のしつらえ・環境	・利用者の尊厳を大切に声掛けを行う。 ・設計上の問題がある為、不便だが内線電話の活用や、外を回って行き来する等、工夫を行う。 ・一般浴の木製部を削ってからペンキを塗る等、業者と検討中。	・声掛けに気をつけ、職員同士で注意をし合える環境を作る事が出来た。 ・内線電話の活用が出来ている。 ・浴槽の木製部は、改善検討中。	・施設周りの草刈は、害虫の問題もあり、年に4～5回は刈る必要がある。	・施設周りの草刈を来年度の計画に入れる。
C. 事業所と地域のかかわり	・町内の集會に参加させて頂き「いしづか食堂」「いしづか喫茶」の話させて頂き顔なじみになる。	・町内の集會に参加出来なかった。	・敬老会などに健康をテーマに出前講座したらどうか。 ・町内の防災訓練、運動会があるので参加をお願いしたい。 ・今年は畑で、地域の方と多く関わった。	・地域のボランティアをお願いするなど、「いしづか食堂」が地域との関わりを充実できる様、検討する。 ・出前講座の企画・実行。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・「いしづか食堂」や「いしづか喫茶」夏祭りの開催等を行い、地域の方々との交流を継続して行き、身近な関係作りを行う。	・夏祭りを開催する事が出来なかったが、地域に出向き地域の方々と交流する事が出来た。	・町内の作品点へ、出向き地域の方と交流していた姿が印象的だった。 ・地域の心配な方を民生委員に相談した事が、ありがたかった。	・施設がある地域だけでなく、利用者が住んでいる地域にも出向き、地域の方々と交流する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・ヒヤリ、事故報告の改善報告を、次の運営推進会議時報告するようにする。	・ヒヤリ、事故報告の改善報告を、次の運営推進会議時に報告する事が出来ている。	・一生懸命やっているが、もう一工夫あれば良いと思う。	・ヒヤリハットの様式の見直しを行い、色々な方向から検討を行える様にする。
F. 事業所の防災・災害対策	・玄関に防災計画が、閲覧出来るように配置。 ・防災協定を町内と結んでおり、施設・町内相互の避難訓練に参加し、常日頃からの協力体制を築いておく。	・「玄関に防災計画が閲覧出来るよう配置」に対し、未実施。 ・町内の防災訓練に参加。施設の避難訓練にも参加して頂いた。協力体制が築けている。	・以前、水害のあった場所なので、(発生の)可能性はある。	・水害時避難場所の石塚住宅を確認する。 ・玄関に防災計画が閲覧出来るように配置。(済)